

石井方式 表記は漢字かな交じり

年長児向け

令和8年度、 花園文庫が 新しくなります!



お話をじっくり読み味わう

- 日本昔話と世界名作から選りすぐりのお話を毎号1話ずつ。
- 時を経ても色あせない知恵やユーモア、ファンタジーと冒険。昔話には子供を想像の世界にかき立てる要素が詰まっています。
- 第一線で活躍中の作家が再話し、一流画家により描かれています。
- 原話のメッセージを大切にしています。
- 裏表紙はお話の裏表紙。お話の余韻が楽しめます。
- お話音声ができるQRコードを掲載。読み方がわからない時のご参考に。



詩は友達

声に出して読む詩のページ

- 毎号1作ずつ詩を紹介。
- いろいろな詩に出会い、情緒を育みます。
- 詩を音読して、響きやリズムを楽しみます。



童謡の世界

日本の心を伝える 童謡の世界

日本の心が歌われている
大切な童謡を選定。
歌詞の情景を切り取った童謡画が、
童謡の世界に誘います。

花の子通信

絵本を更に楽しむための
メッセージがいっぱいの
花の子通信

改訂にあわせて『素話カードセット』
もリニューアルされます。

(提出漢字が異なりますので、これまでのカードセット
はご活用いただけません。ご注意ください)

お話ラインナップ

4

文福茶釜

文：深山さくら／絵：福田岩緒

茶釜に化した狸が、お世話になった鑄掛屋(いかけや)さんに恩返し。「寄ってらっしゃい、見てらっしゃい」。鑄掛屋さんの掛け声と共に、舞台の茶釜がゴトゴト動き始め、手足の生えた「文福茶釜」が綱渡りや傘回しの楽しい曲芸を披露します。

詩は友達 「あかるい春」野口雨情

5

たのきゅう

文・絵：高島ひろき

たのきゅうさんは、人気の旅役者。急病のお母さんに会うため、急いで故郷へ帰る途中、恐ろしい「うわばみ(巨大な蛇)」に遭遇してしまい……。たのきゅうさんは、どうやってこの危機を乗り越えるのでしょうか。落語にもある知的でコミカルなお話。

詩は友達 「からたちの花」北原白秋

6

しっぺい太郎

文：横山充男／絵：水野ぷりん

白羽の矢が立った家の娘を神に捧げなければならない村がありました。村を訪れた武士が、「神様が人の娘を取って食うはずがない」と村人たちを救うために立ち上がります。「早太郎」の名でも知られる昔話。

詩は友達 「雨ニモマケズ」宮澤賢治

7

失せもの占い

文：北川チハル／絵：太田大輔

お婆さんが毎日作る「菜飯」に嫌気がさしたお爺さん。包丁を隠しておき、お婆さんに占いで包丁を見つけ出す代わりに今後菜飯を出さないことを約束させます。在りかを言い当てたお爺さんの能力を信じたお婆さんが、周囲に言いふらしてしまったからさ大変。

詩は友達 「少年に与う」高村光太郎

8

お爺さんの光る石

文：中島和子／絵：洞野志保

動物たちを可愛がって俟(つま)しく暮らすお爺さんが、ある日助けたトカゲからどんな願いも叶う不思議な石を譲り受けます。ところが、友人に石を奪われ、悲しむお爺さんを助けようと、猫とあひるが石を取り戻そうとしますが……。ブルガリアの昔話。

詩は友達 「よかったなあ」まど・みちお

9

団子を失くしたお婆さん

文：松井ラフ／絵：ふじいかずえ

団子を作るのが大好きなお婆さんが、転がる団子を追いかけているうち、鬼の住みか。そこでは、食べ物は何倍にも増える不思議な杓文字(しゃもじ)を与えられて、鬼たちの食事係をさせられます。ある日、逃げ出すことを企てますが……。小泉八雲が採取した民話を再話。

詩は友達 「雲」山村暮鳥

10

母の面と鬼の面

文：楠章子／絵：松本春野

貧しさゆえに奉公に出た娘は、母に似せて作った面に毎夜語りかけることが慰みでした。ある日、いたずら好きの下男がその面を鬼の面にすり替えます。鬼の面を見た娘は、母の身に何かあったに違いないと故郷へと急ぎますが、道中で山賊に出会ってしまい……。孝行娘の昔話。

詩は友達 「遠き山に日は落ちて」堀内敬三

11

柿山伏

文：穂高順也／絵：星野イクミ

空腹の山伏は、畑の柿の実を盗み食べます。そこへ、畑の主がやってきて、木の上で柿を食べる山伏に気づきますが、「そこにいるのは鳥かな」「猿かな」とからかいます。その度に山伏は、気付かれまいと鳴きまねをして誤魔化そうとします。狂言の有名な演目の1つ。

詩は友達 「とんび」葛原しげる

12

跡かくしの雪

文：巢山ひろみ／絵：夏目尚吾

宿を求めて困っていた旅人のために、貧しいお婆さんは、近所の畑から大根を盗んで食事を用意します。雪の上には、お婆さんの足跡が家まで続いて残り、朝になれば、罪が明らかになると分かっているお婆さんは、朝早く旅人を出発させるのでした。罪を赦(ゆる)す心を知る民話。

詩は友達 「道」新美南吉

1

白雪姫

文：井上林子／絵：さこもみ

美しい心をもつ白雪姫は、その美しい姿を継母の王妃から妬まれ、命までも狙われます。王妃から逃れ、深い森の奥で7人の小人たちと家族のように楽しく暮らす白雪姫に、再び、王妃の魔の手が忍び寄ります。白雪姫の本当の美しさが奇跡を呼ぶ物語。

詩は友達 「竹」萩原朔太郎

2

うぐいす長者

文：中島和子／絵：ふくいさやか

男が山道を歩いていると、梅の木の下で4人の美しい娘たちと出会います。娘たちが住むお屋敷に案内され、男はそのまま暮らし始めます。屋敷には4つの蔵があり、3つ目までは見てもいいが、4つ目は決して見てはならないと言われるのですが……。

詩は友達 「雪」山村暮鳥

3

春の池

文：山本省三／絵：藤本四郎

老夫婦が可愛がって育てている蛇が大きく成長し、村人は危険だと言い始めます。老夫婦は泣く泣く蛇と別れ、蛇は山に美しい池を作ってそこに住み、姿を現さなくなってしまう。池は村人たちの集いの場となりますが、ある日庄屋の娘が池に落ちてしまい……。親を思う子の心、自立を知る民話。

詩は友達 「偶成」朱熹

※より良い絵本づくりのため、タイトルや企画内容を変更することがあります。ご了承ください。